

がんサバイバーシップ

—つらさを和らげるケア—

がん診断後、早期から治療に焦点を当てたサポーターケアを行うことの重要性が高まっています。そこで、市民公開講座では「サバイバーシップ」をテーマに、治療を続けるための心の持ち方や症状のケアについてご講演頂きます。また、シンポジウムでは、診断後・治療過程・治療に伴う症状のつらさに対応するケア（運動療法・心と体のつらさ・副作用・食事のケア、栄養に関するセルフケア）について 多職種の方にご講演頂きます。日常的ケアの最新の知見や多職種の実践、連携を学びましょう。多くの方にご参加頂きますよう、お願い致します。

日時

2014年7月19日(土)
13:30-16:30

13時10分
受付開始

場所

東京ミッドタウンホール&
カンファレンス Room7

〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-1 東京ミッドタウン4階
Tel: 03-3475-3103



- 都営大江戸線「六本木駅」8番出口より直結
- 東京メトロ日比谷線「六本木駅」より地下通路にて直結
- 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩約3分
- 東京メトロ南北線「六本木一丁目駅」1番出口より徒歩約10分

※公共交通機関をご利用いただけますようよろしくお願いいたします。

問い合わせ先

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科
(湘南藤沢キャンパス)がんプロ担当事務室

〒252-0883 神奈川県藤沢市遠藤4411
Tel: 0466-49-6200
Email: ganpro-gsham@adst.keio.ac.jp

プログラム

開会挨拶 13:30-13:40

総司会 小松 浩子

(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 教授
がんプロフェッショナル養成基盤推進プランコーディネーター)

挨拶 河上 裕

(慶應義塾大学医学部先端医学研究所(細胞情報研究部門) 教授
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事業推進責任者)

市民公開講座 13:40-14:20

「サバイバーシップ」

—治療を続けていくための心の持ち方、症状マネジメント等—

講師 山内 英子

(聖路加国際病院乳腺外科部長・プレストセンター長)

シンポジウム 14:20-16:25

「つらさを和らげるケア」

座長 辻 哲也

(慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 准教授)

- ① 身体のつらさ(倦怠感や悪液質)を改善する運動療法
高倉 保幸 (埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科 教授 理学療法士)
- ② 心と身体のつらさに対するケア
白波瀬 丈一郎 (慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 専任講師)
- ③ がん治療の副作用に対するマネジメント—皮膚障害を中心に—
松原 康美 (北里大学病院 がん看護専門看護師)
- ④ 食べること、栄養をとるためのセルフケア
伊藤 陽子 (東京歯科大学千葉病院 栄養管理室 管理栄養士)

閉会